

## 教員名と研究室名

助教 阿部 由布子 / メディアアート・コミュニティアート研究室

## 主な研究内容と目指す将来像

身のまわりに存在する様々な社会課題についてリサーチし、その実態をプログラムを通してアート表現に変換する手法を探求しています。これは社会課題に斜めから切り込む視点を示すことでひとびとに驚きと関心をもたらし、わたくしたちの生きる社会をより寛容で豊かなものとして行くことを目指す取り組みであると同時に、コンピューティングを介した文化形成の可能性を模索するところみでもあります。

## 研究キーワード

メディアアート、コミュニティアート

## 研究の魅力・面白さ



以前、市民アンケートの結果をサウンド作品に変換するプログラムを展示発表した折、音楽愛好家だという方から声をかけられてお話したことがあります。会場に流れるサウンドは私が作曲したものではなく、レシートをソースにプログラム生成されたものであること、そのレシートは地域に生きる女性たちをめぐる貧困問題を象徴する素材であることをご説明したところ、その方は、アートを糸口に社会の問題に関心が向いたのは初めてです、とおっしゃってくださいました。その方が後日ご友人をともなって会場を再訪され、作品の制作背景をご友人に熱心に説かれていた姿が印象に残りました。誰かの苦しみが表現に変わることで、他の誰かを突き動かす力となることもあります。その劇的変換の現場に立ちあえることが、研究発表の醍醐味かもしれません。

## 研究室配属希望者へのメッセージ

自身をとりまく世界について素朴な疑問を抱いたら、そこが研究の出発点です。自分の興味関心を上手に引き出して、学び深めて行きましょう。そうすることできっと、あなたの人生はより素晴らしいものになるはずですよ。ともに学び考え、行動していきましょう。

## 連絡先

y.abe@maebashi-it.ac.jp